



はじめに

児童・生徒の皆様からご応募をいただきました。昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症が拡大する中においても、この作文コンクールにご応募 本会では、昭和五十八年から「福祉体験作文コンクール」を実施しています。本年度は、小・中・高等学校あわせて二百二十校、三百八十一名の

近年、様々な場面において児童・生徒などの若い世代が多様なボランティア体験や福祉活動に取り組む機会が増え、福祉やボランティアへの理解

いただいた皆様方に厚くお礼申し上げます。

と考えております。 関心が広まってきております。本会といたしましても、今後、地域福祉活動への支援や福祉教育活動への充実に向けて、より一層取り組んで参りたい

の福祉教育活動の推進にお役立ていただきたいと思います。 このたび、選考委員会において厳正なる審査をし、二十六編の入選作品が決定されました。ここに、本年度の優秀作品集を作成しましたので、

最後に、審査にご協力くださいました各委員の方々、作品の応募にご協力くださいました各小中高等学校、各市町村社会福祉協議会、さらにはボラ

令和四年二月

ンティア関係者の皆様方に厚くお礼申し上げます。

社会福祉法人 愛知県社会福祉協議会

今後

豐橋市立牛川小学校 一宮市立大和東小学校 一宮市立大和東小学校 十田市立宮池小学校 等日井市立大和東小学校 一京市立田原東部小学校 田原市立田原東部小学校 七五五年十二年十二年十二年十二年十二年十二年十二年十二年十二年十二年十二年十二年十二年	•
大 大 五 五 五 四	
六 六 五 五 五 四 三 三 三 三 一 一 : : 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 : :	•
吉 牛 中 長 藤 福 清 安 竹 右 石 林 角 鈴	•
る 岡尾村川井井水 藤川髙上 田木 : :	•
虎 穂 颯 雄 陽 あ 樹 晏 理 鼓 瑠 莉 : : : : : : : : : : : : : : : : : :	•
乃 か 太 徹 香 太 大 花 了 り 生 詩 愛 良 蘭 杏 央	•
	•
: : : : : : : : : : : : : : : : : : :	

作文コンク審査経過:	「沈黙」	中学生の部 中学生の部 中学生の部 に対したするにするためである。 でれかの笑顔を咲かせたい: でれかの笑顔を咲かせたい: を夫婦から教わった支え合い を大婦から教わった支え合い。 でもつなぐ「ありがとう」:	人の役実の
作文コンクール要項・審査経過:	「沈黙」から学んだこと ワクチン接種ボランティアに向けて新たに学んだことと、改めて学んだこと:	中学生の部 中学生の部 中学生の部 中学生の部 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	人の役に立つことを福祉実践教室で学んだ車いすんのつながり
ル : 要 : 項 :	で 高校生の部 高校生の部	中学生の部 で「ありが がランティア 気持ちと伝 気持ちと伝 の教わった	ことを
	ティア、改め	とう」とう」	: だ: : 車:
	· に ヴ = : に ヴ : に づ : に づ : に づ : に づ : に づ : に づ : に づ : に づ : に づ : に づ :	ため : を · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	・ ・ す ・ ・ ・
	: けん : て: : : :		
: : : : : :	: : È : : :		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	学 学 愛	設津春弥岡知	・・・・豊あ知
	学校法人愛西学園愛知黎明高等学校学校法人愛西学園愛知黎明高等学校愛知県立海翔高等学校	設楽町立津具中学校 部富市立弥富中学校 新富市立弥富中学校 一学校 一学校 一学校 一学校 一学校 一学校 一学校 一	豊山町立志水小学校あま市立甚目寺南小学校知立市立猿渡小学校
		津神立弥竜中具守坂富南部中山	志水小
: : : : : :	愛知黎	学学学校校校	小学校 小学校
	前 前 高 等 等	校	字 校
	学 学 校 校 二 二	-	
	三二一年年年	三三三二二一年年年年年	六 六 六 年 年 年
: :	奥 奈 重	佐横平河杉國	白 佐 福
	村 井 藤	木 山 澤 村 浦 部	石 藤 岡
: :	菜 睦 千 々 未 子 景	こ 知 莉 留 一 恵 こ 衣 ろ 香 奈 奈 颯 太	華 夢 奈 子 輝 光
	未 子 景	ろ香奈奈颯太	子 輝 光
38 37	35 33 32	30 29 27 26 24 23	21 20 19

小学校低学年の部

いつまでもげん気なおじいさん

	3	8
3	豊橋	
鈴木 莉央	豊橋市立牛川小学校一年 111111111111111111111111111111111111	
鈴木	十川小学	
^^	学校	•
乔	年	**
莉央		***
央		

おじいちゃんのことを「じいじ」とよんでいます。人のおじいちゃんがいるので、ひいおじいちゃんのことを「おじいさん」、おねえちゃんと、わたしで、一つのおうちでみんなでくらしています。二んと、おばあちゃんと、おとうさんと、おかあさんと、おにいちゃんと、わたしのかぞくは、八人かぞくです。ひいおじいちゃんと、おじいちゃ

しにとって、じまんのおじいさんです。ぶんでごはんをたべることができるし、トイレにだっていけます。わたが生きです。一○三さいまで生きれるなんて、すごいとおもいます。じおじいさんはなんと一○三さいです。わたしよりもずっと、ずっとなちょっとここでわたしのおじいさんのことについてしょうかいします。

りました。ねぼけたことをいって、みんなをこまらせます。でくれません。足がよわって、なんかいもころんでけがをするようになっしょにババヌキをしてくれてたのしかったのに、いまはもう、あそんこぼすし、おふろもおばあちゃんに入れてもらっています。むかしはいでも、いやなときもあります。ほとんどねています。あるくのがすごでも、いやなときもあります。ほとんどねています。あるくのがすご

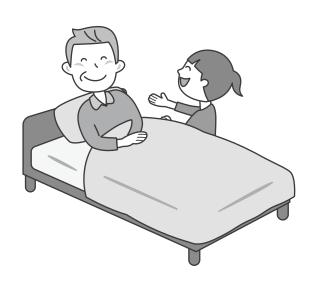
しは、おじいさんみたいになが生きできるかわからないけれど、やさしでもわたしも、いつかはとしをとって、おばあさんになります。わた

んに、くおせわをしてもらいたいです。なので、しょくじのときにはおじいさ

「おじいさん、いまからエプロンをつけるね。」

にこしてくれるので、またおせわをしようとおもいます。は、おせわをしてもらっても、すぐにわすれるけど、うれしそうににこ手もつないであげます。おじいさんを、たすけたいのです。おじいさんとこえをかけながら、エプロンをつけてあげます。ころばないように、

んは生きていて、よろこんでくれるはずです。たのしみです。いいうけんめいおしえていきたいです。きっと、そのころまでおじいさしい気もちをわすれずに、子どもたちもやさしい子になるように、いっものおせわは、おじいさんのおせわににているところがあります。やさおとしよりや、そんな人たちがたのしくくらせる国にしたいです。小さな子どおとしよりや、そんな人たちがたのしくくらせる国にしたいです。



げんきですか

一宫市立大和東小学校一年

がっこうだよ。おぼえているかな。つこうからおうちまでのみちもおぼえたよ。おかあさんとおなじしょうっこうからおうちまでのみちもおぼえたよ。おかあさんとおなじしょうがようちえんは、そつえんしました。ほんとうは、ほいくえんにいっていよ。がくせいになりました。ランドセルのしゃしんみてくれたかな。ひいばあちゃん、あいたいな。わたしは、いちねんせいになりました。

おおきなこえでよんでいるよ。きこえているといいな。まだからすぐすぎてしまうけれど、ひいばあちゃんにきこえるように、ぞくみんなでひいばあちゃんをよんでいるよ。きこえているかな。くるひいばあちゃんのグループホームのよこをとおるときには、いつもか

たきけばいいとおもうよ。そくしてね。わすれたら、まそくしているから、ひいばあちゃんもやくそくしてね。わすれたら、まえてあげる。わからないときは、きくことだって、おかあさんともやくでいいからね。うったことをわすれてしまったら、きいていいよ。おしコロナウイルスのワクチンせっしゅはいたかった?二かいのせっしゅ

でもおはなしするからね。ひいばあちゃんのことだいすきだから、ひいったことをわすれてしまったら、なんかいでもきいていいよ。なんかいとなわとびとさかあがりをみてほしいな。わたしが、いちねんせいになまっていてね。ひいばあちゃんとおてだまであそびたいな。ホッピングこんどのおもちつきには、あえるかな。かぞくでむかえにいくから、

ばあちゃんげんきでいてね。



みんなおんなじ

		k
	半田市	
	立宮池山	
林	小学 校 一	•
林瑠蘭	半田市立宮池小学校一年	***************************************
蘭		

した。あと、「じぶんとみためやしぐさがちがってもわらったりからかった。あと、「じぶんとみためやしぐさがちがってもわらったりからかった。あと、「じぶんとみためやしぐさがちがってもわらったりからかった。あと、「じぶんとみためやしぐさがちがってもわらったりからかった。あと、「じぶんとみためやしぐさがちがってもわらったりからかった。あと、「じぶんとみためやしぐさがちがってもわらったりからかった。あと、「じぶんとみためやしぐさがちがってもわらったりからかっているとうしろからべつのおとこのひとに「さっきのあなたのこうどうにいるとうしろからべつのおとこのひとに「さっきのあなたのこうどうにいるとうしろからべつのおとこのひとに「さっきのあなたのこうどうにいるとうしろからべつのおとこのひとに「さっきのあなたのこうどうにいるとうしろからべつのおとこのひとはいったそうです。でんしゃにのろうと、きっぷをかってした。あと、「じぶんとみためやしぐさがちがってもわらったりからかっといったがあめのなかよってくるから、みんなにやさしくね。」といっていました。ふくし・ぼらんていあってくるから、みんなおもでがある。そのひとはいっしょうけんめいがんばってるから。みんなおちゃだめ。そのひとはいっしょうけんめいがんばってるから。みんなおちゃだめ。そのひとはいっしょうけんめいがんばってるから、みんなおもでがある。

ました。 ママはおこるとこわいけど、とってもやさしくてすてきだなとおもい

た。ふくし・ぼらんてぃあのひとってすごいな、やさしいなとおもいまのひとはすてきなことをまいにちしてくれているひと。」といっていましママは、「わたしはきまぐれでしただけだけど、ふくし・ぼらんてぃあ

した。 た。

いっていました。
いっていました。うたをききながら「みんなちがってみんなおんなおんなじ」といううたで、ママがよくきいていたからわたしもきいせてくれました。ママのすきなうたは、もりやまなおたろうさんの「みなりたいです。このはなしをしていたらママのすきなうたをどうがでみなりたいです。このはなしをしていたらママのすきなうたをどうがでみかたしもママやふくしのひと、ぼらんていあのひとみたいにやさしく

なりたいです。かるようになったらわたしもやってみたいです。ママみたいにやさしくかるようになったらわたしもやってみたいです。ママみたいにやさしくもっとおべんきょうをがんばって、ふくしとぼらんてぃあのことがわ



しあわせの助け合い」

春日井市立八幡小学校三年

ごをしなければいけなくなりました。びょう気になり、お母さんは一人でおじいちゃんとおばあちゃんのかいんちしょうにもなってしまいました。おばあちゃんはショックをうけて三年前、ぼくのおじいちゃんは、けがをして車イスの生活となり、に

ていました。ぼくはお母さんがつらそうで心ぱいでした。さんは仕事を休んで毎日おじいちゃんの家へ行って、二人のお世話をしぼくたちは、おじいちゃんといっしょにすんでいなかったので、お母

へ入る事になりました。した。たくさんそうだんして、おじいちゃんは家の近くのろう人ホームした。たくさんそうだんして、おじいちゃんは家の近くのろう人ホームでんな時、お母さんの力になってくれたのがケアマネージャーさんで

行ったり、たん生日会をしたりしました。ホームのスタッフの方たちといっしょに、トランプをしたり、お花見へくが遊びに行くととてもよろこんでくれて、いっぱい遊んでくれました。ぼホームでのおじいちゃんは、毎日楽しそうで、え顔がふえました。ぼ

しかったです。るなど出来る事をしていました。おじいちゃんがよろこんでくれてうれるなど出来る事をしていました。おじいちゃんがよろこんでくれてうけ食事の時は食べやすいように小さく切ってスプーンに入れてあげたり、 ぼくは、ホームでおじいちゃんの車イスを気をつけながらおしたり、

んもおじいちゃんを元にもどす事が出来ませんでした。すぐにスタッフーでも、おじいちゃんが車イスから落ちてしまった時は、ぼくもお母さ

かったら、お母さんはくじけていたかもしれない。」と言いました。かったら、お母さんはくじけていたからです。ぼくがかなしんでいると、お母おじいちゃんは、安心して生活できるんだと思うと、もう本当に家へ帰おじいちゃんが車イスから落ちてしまったら、だれも助けてあげれませってこれないんだと気づいたからです。ぼくがかなしんでいると、お母おじいちゃんが車イスから落ちてしまったら、だれも助けてあげれませっとしたけれど、少しかなしくなってしまいました。もし、家で夜中にの方が来てくれて、おじいちゃんを助けてくれました。ぼくはすごくほの方が来てくれて、おじいちゃんを助けてくれました。ぼくはすごくほの方が来てくれて、おじいちゃんを助けてくれました。

おじいらゃんは天国ハテってしまったナルビさい後までしありせそうまっている人の家族も助けるりっぱな仕事だと思いました。善かいごふくししの仕事は、こまっている人を助けるだけではなく、こ

しあわせになってくれたら、ぼくもしあわせです。 あげたいです。小さな助けかもしれませんが、ぼくのした事でだれかがうに、これからはぼくも、こまっている人がいたらすすんで力になってぼくたちが、いろいろな人たちに助けてもらってしあわせになれたよけてくれた人たちがいて、みんなが安心してすごせたからだと思います。で、あんなに楽しい思い出をたくさんつくれたのは、おじいちゃんを助おじいちゃんは天国へ行ってしまったけれどさい後までしあわせそう



私の自まんの先生

		36	%
		春日	
•		日井市立玉	
		玉川小	
	右高 理愛	春日井市立玉川小学校三年	#
	理	牛	
	愛	- 3	X

が作ったものを食べているからだと思う。いつもおじいちゃんとおばあちゃんいる。おじいちゃんとおばあちゃんが作るお米や野さいは、すごくおい田んぼやはたけに行ってお米や野さいを作っているから、何でも知って私のおじいちゃんとおばあちゃんは、田んぼやはたけの先生だ。毎日

私も田んぼの仕事をする時が一年に五回ある。おじいちゃんとおばあそんな私の二人だけでは大へんな時、私もお父さんとお母さんと一緒に仕ちゃんの二人だけでは大へんな時、私もお父さんとお母さんと一緒に仕ちゃんの二人だけでは大へんな時、私もお父さんとお母さんと一緒に仕ちゃんの二人だけでは大へんな時、私もお父さんとお母さんと一緒に仕ちゃんの二人だけでは大へんな時、私もお父さんとおばあちゃんとおばあり、だっこく、もみずりの時だ。本当の事を言うと、私は田んぼに行くのが好きではない。中いねのこながくっついて気持ち悪い。おじいちゃんやおばあちゃんは、本いので、足やうでがいたくなる。いつもあせでべたべたで、体中にどろいので、足やうでがいたくなる。いつもあせでべたべたで、体中にどろいので、足やうでがいたくなる。いつもあせでべたべたで、体中にどろいので、足やうでがいたくなる。いつもあせでべたがでは、本は、私も田んぼの仕事をする時が一年に五回ある。おじいちゃんとおばあれたないので、私はいちゃんとおばあれたいので、大きないのでは、大きないのでは、私が出んばいたが、大きないる。

「やったぁ。やっとお米が出来た。」の仕事であるもみすりが終わると、いやだった気持ちはゼロになっての仕事であるもみすりが終わると、いやだった気持ちはゼロになっておばあちゃんがよろこんでくれると私もうれしくなる。それに、さい後と言ってくれる。田んぼの仕事は好きじゃないけれど、おじいちゃんと「上手に出来るね。ありがとう。」

ほうびだ。 カピカと光っている。味もあまい。これは間ちがいなく、とくべつなごを家族みんなではじめて食べる。出来たてのお米をたくと、まっ白でピびを食べた時はそう思う。もみすりが終わった日、出来たばかりのお米とうれしくて、やってよかったと毎年思う。とくに、とくべつなごほう

私は、これからもずっとおじいちゃんとおばあちゃんが作るお米や野私は、これからもずっとおじいちゃんとおばあちゃんは、何でも知っている先生だから、その事を知っていて、本ならないためには、だれかがやらなければいけない。おじいちゃんとおばあちゃんは、何でも知っている先生だから、その事を知っていて、本いにお米も野さいも、とくべつなごほうびまでなくなってしまう。そうってしまったら、田んぼやはたけはどうなってしまうのだろう。今みたさいを食べたい。でも、もしおじいちゃんとおばあちゃんが作るお米や野私は、これからもずっとおじいちゃんとおばあちゃんが作るお米や野

くさん教えてもらいたい。だっておじいちゃんとおばあちゃんは、私のけでやる時が来ても大丈夫なように、おじいちゃんとおばあちゃんにた一緒にとくべつなごほうびも食べたい。でも私やお父さん、お母さんだ私は、ずっとおじいちゃんとおばあちゃんと田んぼの仕事がしたいし、



わたしのおじいちゃん

	10	•	4	%
			T	
1			弥	
			富	
•			市	
			ャ	
			栄	
			南	
			小学校	
			了	
	h-h-		南小学校三年	
	竹		年	4
]]]			9
	累			
	<i>×</i> #			
	可		•	\rangle

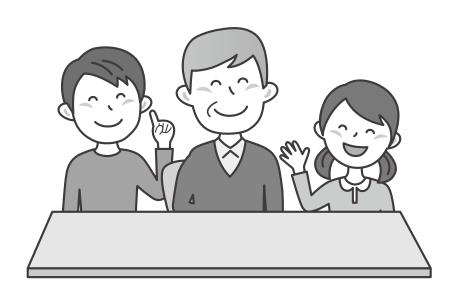
り入らないそうです。
り入らないそうです。
り入らないそうです。
のには、六年前、かいだんから落ちて首のほねをおり入らないそうです。
の下しまいました。おじいちゃんは、大年前、かいだんから落ちて首のほねをおり入らないそうです。

思います。おにうれしそうな顔をします。これからもやってあげたいとおじいちゃんはうれしそうな顔をします。わたしたちが手つだうと、らです。お兄ちゃんたちも手つだいをします。ボタンをとめてあげたり、に手があがらないので、服をぬいだり着たりするのもくろうしているかれたしは、たまにおじいちゃんの服をぬがせてあげます。かたより上

きん肉がついたり、うでの動くはんいがひろがったりします。わたしは、もできなくなってしまうからです。おじいちゃんが自分でやることで、でがんばるのも大切だからです。全ぶ手つだってしまうと、できることけれども、全ぶを手つだうわけではありません。おじいちゃんが自分

ています。だけ手つだうようにしています。家族の一員として力になりたいと思っだけ手つだうようにしています。家族の一員として力になりたいと思っないこともあると知りました。だから今は、手つだってと言われたとき今まで助けてあげることが人のためになると思っていましたが、そうで

たほうがよいかどうか考えてから行動したいと思います。たいという気もちしかありませんでした。でも、これからは、手つだっ町には、車いすの人や目の見えない人もいます。今までは助けてあげ



゙かみをのばしてみた」

大桑町立柏森小学校三年 横生

かみはむねくらいまでのばしたいです。とくにないです。ぼくのかみの長さはかたにつくくらいになりました。ほくは二年生の冬からかみをのばしています。のばしているりゆうは

日、ぼくはかみを一つにむすんで学校に行きました。学校では夏休み前に、ぼくのかみはむすべるくらいの長さになりました。ある

「いつ子ちゃん」

ちゃんからと言われてわらわれたりしました。かみをのばしているあいだもおじいと言われてわらわれたりしました。かみをのばしているあいだもおじい

「男の子なのに。」

と言われました。

らけどぼくが学校へかみをむすんで行ってわらわれた時、おじいちゃんかけどぼくが学校へかみをむすんで行ってわらわれた時、おじいちゃんかにくはかみをのばしたいけど自分を女の子みたいだと思いません。だ

「男の子なのに。」

のクラスに三人くらいLGBTがいてもおかしくないです。けっこういいうそうです。十人に一人がLGBTとも知りました。そうするとぼくになったり、男の子の体だけど心が女の子だったり、それをLGBTと自分の学校の男の子でかみをのばしている子はいないと思ったからです。と言われた時、ぼくはそれをみんなのふつうのはんのうだと思いました。

るなと思いました。

「LGBT?」お母さんが知り合いに、ぼくがかみをのばしていることを話したら

と聞かれたそうです。お母さんは、

BTと名前をつけて分けることもちがうと思う。」 「一人一人顔がちがうように考えも好きなものも一人一人ちがう。LG

す。みんなとちがうことがおかしいことではないと思います。も、スカートをはいている男の子がいても、その子はその子だと思いまと言いました。ぼくもそう思いました。かみの長い男の子が学校にいて

ずつくこともあると思うからです。けでなく、ひょっとしたらその子のほかにそれを聞いているだれかがきものや見た目をひていしないようにしたいです。ひていしたらその子だーみんなとちがっても、みんなだってそれぞれちがうから友達の好きな

広がるといいなと思います。したいことをしても、へんだなと思われない、わらわれない考えかたがしたいことをしても、へんだなと思われない、わらわれない考えかたが、これからもぼくはかみをのばします。すきなものをすきだと言っても、



小学校高学年の部

、アドネーションの輪

清須市立西枇杷島小学校四年

清水 あかり

の話をお母さんから聞きました。れ、私のかみは長くなっていました。そんなある日、ヘアドネーションした。感せん予ぼうのための長引く自しゅく生活で、美容院に行きそび私がヘアドネーションを知ったきっかけは、新がたコロナウイルスで

するボランティア活動のことです。子供たちのために、き付されたかみの毛でウイッグを作ってプレゼントーのアドネーションとは、ガンや白血病、事故などでかみの毛を失った

らうことにしました。
いいる団体のホームページで、近くの美容院を探し、そこで切ってもいまいよいよ目標の長さまでのびました。ヘアドネーションをやのばす必要がありました。私は、毎日ていねいにかみを洗い、手入れをのばす必要がありました。私は、毎日ていねいにかみを洗い、手入れをのに、パソコンでヘアドネーションのことを調べました。ヘアドネーシュンには、そのことを知って迷わず、私もやりたいと思いました。私はす

ていろいろなことを教えてくれました。 美容師さんが、私のかみの毛を切りながら、ヘアドネーションについ

してからウイッグに作られること。今日、切ったかみの毛がウイッグに善切ったかみの毛は、日本からアメリカに送られ、いろいろなしょりを

グが多いこと。 毛の真ん中で折り返して本体に留めるのでかみの短いおかっぱのウイッのウイッグは、子供があつかってもこわれないようにするため、かみのなって、待っている子にとどくまでには二年くらいかかること。子供用

美容師さんの話は、おどろきの連続でした。二年もかかるのでは、ウ 大います。そして、一人でも多くの人がヘアドネーションをすることで、 ないますが、それを全国でほしがっている子供たちがたくさんの人の した。そのたびに、私はヘアドネーションの話をしました。それを全国でほしがっている子供たちがたくさんいます。 しまいますが、それを全国でほしがっている子供たちがたくさんいます。 とを知れば知るほど、またき付したいという気持ちがわいてきました。 とを知れば知るほど、またき付したいという気持ちがわいてきました。 とを知れば知るほど、またき付したいという気持ちがわいてきました。 人に関心をもってもらったり、身近に感じてもらえたりしたらいいなと 人に関心をもってもらったり、身近に感じてもらえたりしたらいいなよっ といます。そして、一人でも多くの人がヘアドネーションをすることで、 思います。そして、一人でも多くの人がヘアドネーションをすることで、 といます。もっとたくさんの人の がいます。もっとたくさんの人の といます。もっとたくさんの人の といます。もっとたくさんの人の

ています。
たくさんの人に笑顔がとどけられるように、私はまた、かみをのばし



ばあちゃんの耳の中にはセミがいる

	31	8
	田原	
	市立田	
	原東部	
福井	学	*
井	五 年	
ァ		

そのセミが飛んでいくことはありません。(ぼくのばあちゃんの耳の中にはセミが住んでいるようです。しかし、

ばあちゃんには何も伝わりません。りました。今では、ぼくが友達に話すような声の大きさやスピードでは、どんな時も鳴りやむ事はなく、ばあちゃんの耳はほとんど聞こえなくな耳鳴りが残ってしまいました。セミの鳴き声のようなはげしい耳鳴りは、どいめまいとはき気をくり返しました。そのこういしょうで、はげしいぼくが産まれる前、ばあちゃんはメニエール病という病気になり、ひ

いるのかわからないんだよ。」と悲しい顔で教えてくれました。いるのかわからないんだよ。」と悲そうに店員さんに伝えました。後からばあちゃんが「さっきはありる?」と、ぼくが大きな声でゆっくり言うと、「あっ、持っています。」と悪そうに店員さんに伝えました。後からばあちゃんが「さっきはありる?」と、ぼくが大きな声でゆっくり言うと、「あっ、持っています。」のるが、レジぶくろある。

り大きな声でばあちゃんに話すことが当たり前です。それでも伝わらなゆっくりとおだやかに話すと伝わりやすいです。ぼく達家族は、ゆっくんのように耳の聞こえにくい人には、ただ大きな声で話すだけでなく、ょう器もあるけど、耳鳴りがひびいて役に立たないそうです。ばあちゃばあちゃんの耳が聞こえないことは、見た目ではわかりません。ほち

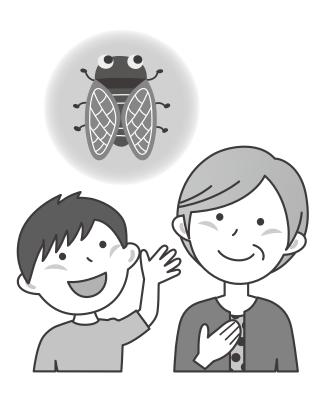
家族で大笑いです。い時もあり、たまにおもしろい聞きまちがいをばあちゃんがした時は、

はあちゃんが一番笑顔になります。と家族全員が笑顔になります。それはご飯の時間です。はあちゃんが一番笑顔になる時間があります。それはご飯の時間です。と家族全員が笑顔になります。それはご飯の時間です。と家族全員が笑顔になる時間があります。それはご飯の時間です。と家族全員が笑顔になる時間があります。それはご飯の時間です。

でいる人はたくさんいると思います。「もっと他には?」と聞きました。 でいる人はたくさんいると思います。それぞれ病気はちがっても、相手の立場になって考えて、心をこめて接すればきっと思いは通じると思います。「目が見えること」「耳が聞こえること」「すが聞こえること」「すが聞こえること」「すが聞こえること」「すが聞こえること」「すが聞こえること」「すが聞こえること」「すが聞こえること」「すが聞こえること」「おいことがたくさんあるとばあちゃんが言ったので、ぼくは、もっとしたいことがたくさんあるとばあちゃんは、「みんながばあちゃんにわかるように話してくれるから助ばあちゃんは、「みんながばあちゃんにわかるように話してくれるから助ばあちゃんは、「みんながばあちゃんにわかるように話してくれるから助ばあちゃんは、「みんながばあちゃんにわかるように話してくれるから助ばあちゃんは、「みんながばあちゃんにわかるように話してくれるから助ばあちゃんは、「みんながばあちゃんにわかるように話してくれるから助ばあちゃんは、「みんながばあちゃんにわかるように話してくれるから助ばあちゃんは、「みんながばあちゃんにわかるように話してくれるから助はあちゃんは、「もっとしたいことができる。世の中にの立場になっています。「相手でいる人は、というないは、こうないは、こうない。」と言ってくれました。

それだけでよいのです。ゃんの耳が聞こえなくても、ばあちゃんがずっと笑顔でいてくれれば、「ありがとう」の気持ちがあれば、思いは伝わります。ぼくは、ばあち

ばあちゃんの耳の中のセミは、今日もにぎやかに鳴いています。



おじいちゃん、教えてくれてありがとう

- 4	%
#	-
⊞	
原	
市	
立	
立神	
戸	
小	
学	
戸小学校五年	
五	•
年	#
	9
	3
- 9	

藤井

陽花

ら車いすに乗り、おばあちゃんがお世話をしていました。 私のおじいちゃんは、十五年間車いす生活でした。私が生まれる前か

えてくれます。その笑顔がうれしくて、ちゃんはおくの部屋でベッドからこっちを見て、ニコニコと笑顔でむかていました。おばあちゃんは、げん関でお出迎えをしてくれて、おじい毎年お正月は、家族でおじいちゃんとおばあちゃんの家に遊びに行っ

とあいさつをします。一年に一回しか会えないけれど、私は、おじいち「おじいちゃん、明けましておめでとうございます。」

ゃんとおばあちゃんのことが大好きです。

まずら、 家を出るまでが大変なのです。おばあちゃんがおじいちゃんの首を支え お正月には必ず近くのデパートへお昼ご飯を食べに行きます。しかし、

「ヨイショッ」

じいちゃんを乗せると外に出られます。その間におばあちゃんが出かけ家の窓を開けるとそこにはエレベーターのような機械があり、それにおうしていいのか分からず、手伝う勇気もなくただ見ているだけしかできたくましく見えました。私は何かお手伝いをしたかったけれど、何をどいた車いすに乗せます。おじいちゃんより体の小さなおばあちゃんが、と起こします。その次に、足を片方ずつベッドから下ろして、用意してと起こします。その次に、足を片方ずつベッドから下ろして、用意して

はきます。おばあちゃんが大変そうだったから、る準備をして、急いでおじいちゃんの所に行きます。私も急いでくつを

「私が車いすを押すよ。」

「ありがとう。任せたよ。」と言うと、おばあちゃんは、

と言って、任せてくれました。

「おじいちゃん、さあ行くよー。」

くと、おじいちゃんがふり向いて、と言ってから車いすをを用すと、思っていたのよことができました。強さはどれくらいでいいかな、おじいすことができました。道には、だん差もたくさんあり、車いすの人達ににも左にも動きません。妹も手伝ってくれて、二人で押してやっと動かみませんでした。そんな時、前から自転車が来てよけようとしても、右と言ってから車いすを押すと、思っていた以上に重くてなかなか前に進

「ありがとう。」

と笑顔で言ってくれました。私はうれしくなり、

「帰りも押すからね。」

帰りは行きよりもスイスイ押すことができ、おばあちゃんにと約束しました。人のために何かをすることはいいことだと思いました。

「上手だね。」

とほめてもらいました。

とおじいちゃんと約束しました。その時にまたあの笑顔で「来年のお正月も私が車いすを押すから、また、ご飯食べに行こうね。」

「ありがとう。」

と言ってくれたことが忘れられません。

といろんな所に遊びに行けばよかったと思い、涙が出ました。でも、天しまいました。十五年間の車いす生活お疲れさまという気持ちと、もってれから数か月して、約束はかなわず、おじいちゃんは天国へ行ってる。オガス

うあってほしいです。国でおじいちゃんは、車いすなしで走り回っているかもしれません。そ

かったりする社会になってほしいと思います。ての道やお店などが車いすの人達にとって動きやすかったり、入りやする人がいたら勇気を出して助けてあげたいと思っています。そして、全私は、車いすを押す経験をたくさんすることができました。困ってい

おじいちゃん、ありがとう



神社でのできごと

北名古屋市立栗島小学校五年

長谷川 雄大

う。」と言って、荷物をあずけてくれました。しかし、おばあちゃんはも と思い、荷物を持ってあげようと話しかけました。すると、「ありがと するのです。だからぼくは、おばあちゃんはきっと助けをもとめている あげたらよかったなと思いました。 う階段を半分以上登っていました。ぼくは、 っていました。少し歩くだけで疲れたり、物を持つことが大変だったり で高齢者疑似体験をして、高齢者がどのような困難をかかえているか知 みんな高齢者の辛さを知らないのです。しかし、僕は学校の総合の授業 したが、だれ一人としておばあちゃんを助けようとはしませんでした。 人がたくさんいて、その中におばあちゃんをチラチラ見ている人はいま ばあちゃんは、 ろまでは、とても長い階段を登らなければなりません。そして、 僕はある日家族で神社へ出かけました。その神社のお参りをするとこ 重い荷物を持っていました。周りにはお参りに来ている もっと早くに荷物を持って 僕のお

ます。周りの人がおばあちゃんに声をかけなかった理由は、勇気が出ずのだろうと考えました。声をかけた周りの人はとても勇気があると思いていたのは、助けようかなと考えていたからだったのです。僕は自分のめたのです。その時、気づきました。周りの人がおばあちゃんの事を見景を目にしました。周りの人が他の困っている人に声をかけて助けはじおばあちゃんの荷物を持って階段を登っていると、ぼくは驚くべき光

ないで助け合いの輪を広げていきたいと思います。 でも気持ちよくお参りすることができました。今後ぼくも、バトンをつを助けるという助け合いのバトンがつながったと思います。その後はとが明るくなったように感じました。いざ人を助けてみると、元気が出てが明るくなったように感じました。いざ人を助けてみると、元気が出てかの人も声がかけやすくなり、声をかけたのだと思います。その後周り



「苦手なことを助け合って働くお兄さん達」

中村 **颯太** 扶桑町立柏森小学校五年

作文に書いてみました。 学校で勉強した福祉の体験学習を通して、ぼくが前に経験したことを

ました。そしたら、お母さんは、の仕事は、どんな事をしているのかが分からなくてお母さんに聞いてみぼくのお母さんは、障がい者し設で働いています。ぼくは、お母さん

と言っていました。その時ぼくは、ンをしたりしているんだよ。」

「ぼくもいっしょにレクリエーションをしてみたい。」

と言いました。

に、ぼくを連れて行ってくれました。 二年生と三年生の二回、お母さんがし設のお兄さん達と会わせるため

とを、とてもよろこんでくれたのでうれしかったです。 最初は、初めて会うから少しきん張しました。けれど、ぼくが来たこ

「よろしく。」

と言ってくれて、あく手をしたら、すぐ仲良くなりました。

色々なことをして遊んでくれました。 わランプをしたり、おかしを食べたり、ぼくをおんぶしてくれたり、

の力だけで動いていて、うでの力がとても強いと思いました。うでずも車いすの人は、車いすからおりて、たたみにね転んでいました。うで

うをやってもらったら、かんたんに負けました。

部片手で軽々とやっていました。ぼくが 左側にマヒがある人は、トランプも、おかしのふくろを開けるのも、

「すごいね。」

と言ったら、

「DSも片手でできるし、ぞうきんも片手でしぼれるよ。」

思いました。と言っていました。ぼくは、何で片手で何でもできてしまうんだろうと

っても一生けん命で、苦手なところをおたがい助け合っていることを実わっていると、いやになってしまうから、努力をしっかりできてすごいなと思いました。ぼくも見習いたいと思いました。ぼくは、苦手な事でもと思いました。ぼくも見習いたいと思いました。ぼくは、苦手な事を練習と思いました。ぼくは、苦手な事を練習と思いました。ぼくは、苦手な事を練習と思いました。ぼくは、苦手な事を練習と思いました。ぼくは、苦手な事を練習と思いました。ぼくは、苦手な事を練習と思いました。

今は、コロナかでお兄さん達に会いに行けないけど、お兄さん達もが感しました。

いきたいと思いました。 ・ でる苦手な事があっても、助け合いの心をもってみんなで協力してんばっていると思うので、ぼくもがんばりたいと思います。

ヘアドネーションをして

岡崎市立常磐南小学校六年

. S B.

牛尾 穂乃香

ごろに日本にも広がりました。

一次のでは、小学二年生のときと小学四年生のときにヘアドネーションは米国で始まり、わたしが生まれた二○○九年とれます。大人向けはありません。十八歳以下の子供向けのみです。大とれます。大人向けはありません。十八歳以下の子供向けのみです。大とれます。大人向けはありません。十八歳以下の子供向けのみです。大大郎のがたる子供達に、無償提供をれます。ヘアドネーションは米国で始まり、わたしが生まれた二○○パールグを作りそれを無償提供する活動です。ウィッグは、人毛一○○パールグを作りそれを無償提供する活動です。ウィッグは、人毛一○○パールグを作りそれを無償提供する活動です。カカにしが生まれた二○○九年に参加しました。

ていました。あるときお母さんが「ヘアドネーションというのがあるけ 四年生のときに三十センチと二回寄付しました。わたしは、 良いと美容院で聞きました。なのでわたしは二年生のときに十五センチ、 アドネーションという名前は知っていたけど、くわしくは知らなかった 参加していてすすめてくれたことが、寄付のきっかけです。 ど、参加してみる?」とすすめてくれたことと、幼稚園の友達がすでに が好きなので、 長のころからかみを切っていませんでした。わたしはかみの毛を結ぶの するかみの毛の長さは、基本的には約三十センチですが十五センチでも 人分のウィッグを作るには、三十人分のかみの毛が必要です。 お母さんにヘアドネーションのことを聞きました。 ポニーテールができる長さからかみを切ることを拒否し ヘアドネーシ わたしはへ 幼稚園の年 寄付

供達を助けたいと思ったのでわたしも参加することを決めました。てなやんでいる子供達がいることを聞いて、かみの毛でこまっている子ョンでかみの毛を寄付している人達が数多くいること、かみの毛につい

団体に自分で送りました。 ヘアドネーションをする日、わたしはお母さんと美容院へ行きました。 ハアドネーションをする日、わたしはお母さんと美容院へ行きました。 の大学でであると思いました。切ったかみの毛は家に持ち帰り、まない子供達がたくさんいると思うと、かみの毛を切って後、美容師さんがかみの毛を持たせてくれました。持ってみると、想像よりも重たかったです。わたしはかみの毛を切って後でもかると、想像よりも重たかったです。わたしはかみの毛を切ってくれるのかなと思いました。対かの毛を切った後、美容師さんがかみの毛を持たせてくれました。 の大学ではからに、がみの毛を切ったのですが、それが当たり前じかないのですが、と思いました。 の大学では、対かの毛を切ってくれるのかなと思いました。 の大学では、対かのですが、というでは、初めてだったのですが、というでは、初めてだったのですが自分で送りました。

伝えていきたいです。

伝えていきたいです。

かるといいなと思いました。この寄付は、かみの毛がのびてからでしかかるといいなと思いました。この寄付は、かみの毛がのびてからでしかかるといいなと思いました。この寄付は、かみの毛がのびてからでしかかるといいなと思いました。この寄付は、かみの毛がのびてからでしかかるといいなと思いました。この寄付は、かみの毛がのびてからでしかかるといいなと思いました。この寄付は、かみの毛がのびてからでしかいるといいなと思いました。この寄付は、かみの毛がのびてからでしかいるといいな人が一人でも多く助わたしはヘアドネーションを通じて、困っている人が一人でも多く助

たので、これからも続けたいと思いました。軽くなって気分が良くなったし、人の役にも立っていることも実感できーわたしはヘアドネーションでかみの毛を寄付したとき、自分のかみが

ぼくのあこがれのヒーロー達

岡崎市立矢作南小学校六年

尚 虎 徹

人達です。そんな東本郷のヒーロー達のお話です。 東本郷町のふるさと守り隊は町のかん境を良くして町内を美しくする

こめられているんだなぁーと感じました。います。毎日ぼくが食べているおいしいお米も、一つぶ一つぶに思いがではないけど、お米を作る人が使う用水路や農道をきれいにしてくれてす。それもふるさと守り隊が関わっています。守り隊はお米を作るわけー本はすごく食料自給率が低いですが、お米は百パーセントに近いで

でいっぱいです。 でいっぱいです。 でいっぱいです。 とんなすばらしいかん境にしてくれているヒーローに感謝の気持ちす。 そうならないようにしてくれています。なんとそのヒーロー達のおそのままにしておくと、どろに草が生え水の流れが悪くなってしまいまを止めるヒーローもふるさと守り隊です。排水路にはどろがたまります。 その排水路はそのままではいつか、すごくきたなくなるでしょう。それぞの排水路はそのままではいつか、すごくきたなくなるでしょう。そればく達が生活することで出るきたない水は大きな排水路に流れます。

もらったり家にかざってもらったりして目の保養にしてもらいたい」とえているよりも、コスモスの花がさいていた方がきれいだし、皆に見てを与えてくれます。実際にヒーロー達の話を聞いてみると、「畑に草が生かけて色とりどりのコスモスがさきます。その花達は、ぼく達にゆとりぼくの通学団の集合場所の前にはコスモス畑があります。夏から秋に

の働きもあるそうです。の事でした。また町のイメージを良くし、しん入者や犯罪を防ぐ、防犯

のスーパーヒーローになりたいです。も人一倍がん張っていきたいと思います。そしていつかぼくも東本郷町人のためでもあり、自分のためでもあるこの活動をぼくは、これから



心のつながり

		3	8
9626		知 立 市	
		立猿渡小	
	福岡光		
	一		# %
	光		3

も手を貸してあげたことはありますか。 そして、少しで善い、みなさんの周りに目の不自由な人はいますか。そして、少しで

に来て、です。車に乗り、病院へ向かおうとしたとき、知らないおじさんが近くです。車に乗り、病院へ向かおうとしたとき、知らないおじさんが近く悪かったので学校を休み、おじいちゃんの車で病院へ行ったときのこと 私は一度だけ手を貸したことがあります。それは五年生の冬、体調が

お話でした。コンビニに着いたときおじさんは、「近くのコンビニまでいっしょに乗せて行ってもらえませんか。」「近くのコンビニに着いたときおじさんは、一つコンビニを知っているというで目の不自由なおじさんが、あるお話をしてくれました。その道のと中た。なぜなら、学校の道徳の授業で白いつえを持った人は目が不自由なた。なぜなら、学校の道徳の授業で白いつえを持った人は目が不自由なた。なぜなら、学校の道徳の授業で白いつえを持った人は目が不自由なた。なぜなら、学校の道徳の授業で白いつえを持った人は目が不自由なた。なぜなら、学校の道徳の授業で白いつえを持ったいました。私は、と頼んできました。そのおじさんは白いつえを持っていました。私は、「近くのコンビニまでいっしょに乗せて行ってもらえませんか。」

「ありがとう。_

した。おばあちゃんが、おじさんに手を貸していて、とてもすてきだと思いまと言って、車から降りようとしました。そのとき車に一緒に乗っていた

私は正直、最初は目が不自由な人だと分かっていても、見た目がこわ

すると姉は、 は全然違う考え方になっていました。私はこのことを姉に相談しました。 ている人を助けてあげたいと思っていたのに、いざとなると私の考え方ど、私は自然と人を見た目で判断してしまっていました。普段から困った目だけで判断してはいけないということは、頭ではわかっていたけれかったので車にあまり乗ってほしくないと思ってしまいました。人を見

ついて調べてみよう。」には不しん者もいるから判断はむずかしいよね。だけど一緒に障害者に「見た目だけで、すべて判断しちゃうことはよくないことだけれど、中

と言ってくれました。

ました。 実際に調べてみると、白いつえの他にも、ヘルプマーク、もう導犬なました。 ました。 がある人たちは活用していることを知りました。私はヘルプマーとがたくさんあると思ったし、 いことがたくさんあると思ったし、 いことが分からない人たちが、支援 を得やすい を見かけたら、勇気を出していることを知りました。 私はヘルプマー とを育まがある人たちは活用していることを知りました。 とで、 支援 を得やす としていることを周囲に知らせることが、 支援 を得やす としていることを周囲に知らせることが、 支援 を記した。 私はヘルプマー とを に調べてみると、 白いつえの他にも、 ヘルプマーク、もう導犬な

うことも大切だと思いました。 でも、どうしておじさんが言っていたように障害がある人を手助けする人が増えるためには、みんなが私のように、ヘルプマークやたしまう人がいるのか、それは分かりません。けれど、障害がある人をの意味を知らない人がたくさんいるのか、それとも見て見ぬふりをしかの意味を知らない人がたくさんいるのか、それとも見て見ぬふりをしておじさんが言っていたように障害がある人を手助けすでも、どうしておじさんが言っていたように障害がある人を手助けす

なるといいなと思います。ついてもっとよく知って、障害がある人も無い人も暮らしやすい社会にうことと、思いやりの気持ちが大切だということです。みんなが障害にました。特に強く思ったことは、人を見た目で判断してはいけないとい私は、あのおじさんと出会ったおかげで色々なことを知ることができ



福祉実践教室で学んだ車いす

% •	•	-34	*
		75	
X			
		あ	
6		ま 市	
		市	
		甚	
		目	
		寺	
		南	
		小	
		学	
佐		小学校六	•
藤		六	1 F
加水		年	96
			#)
夢			*
北串			92:
ル半			X

ったと思いました。何回かぶつかりそうになったけれど、無事に診察の を言いました。あのおじさんのように、親切にしてくれる人が居て良か れました。僕は、とても助かったので「ありがとうございます。」とお礼 たおじさんが、開けるボタンを押してくれて「どうぞ。」と声をかけてく が降りる階に、着きました。降りる時、一緒にエレベーターに乗ってい な工夫がされているんだなとまた一つ勉強になりました。そして、 の人が後方を確認するためにあるんだよ。」と教えてくれました。いろん ってる?」と聞かれました。僕は、「わからない。」と答えると、「車いす ていると、おばあちゃんに、「なんでエレベーターに鏡が付いているか知 にぶつかっていたかもしれません。そんな時は、どうするのかなと考え べに、ぶつかりながら回転する事が、出来ました。人が、沢山いたら人 いました。特に、エレベーターの中で回転する時が一番大変でした。か だと思いました。ほんの少しの段差も、曲がったりするのも難しいと思 かすのは、初めてです。友達を乗せた時よりも、すごく力がいるし大変 んだ事を思い出して動かす事が出来ました。でも、大人の人を乗せて動 んでした。だから、 んは、前日にテーブルにぶつかってしまい肋骨を打って痛くて歩けませ んの定期検診があり、 について学びました。六年生の夏休みに入ってすぐのころ、おばあちゃ 僕は、 五年生の時に福祉実践教室で車いすの押し方や車いすの仕組み 病院の車いすを借りて、僕が押してあげました。学 名古屋市の病院へ一緒に行きました。おばあちゃ

った人達を助け合う事が出来る社会になると良いなと、思いました。して気づいた事がありました。車いすを押す大変さ、周りの人達の優しさ、親切さを感じました。困った人を見たら助けてあげようと改めて思さ、親切さを感じました。困った人を見たら助けてあげようと改めて思さ、親切さを感じました。困った人を見たら助けてあげようと改めて思とう。」と言ってもらえてうれしかったです。この日、実際に車いすを押場所まで連れて行ってあげる事が出来ました。おばあちゃんに「ありが



人の役に立つことを

です。です。とがありました。それが、福祉について興味をもったきっかけ行ってくれたので、おじいさんやおばあさんを両親が介護している様子私の父と母は、介護の仕事をしています。父や母が私を職場に連れて

たりして過ごしていました。する父のそばで、障害者の方と一緒にゲームをしたり、カラオケを聞い者の方のレクリエーションのお手伝いをしていました。私は、お手伝いってもらったことがあります。そこで父は、知的障害者の方や身体障害ィア活動をしていました。低学年のころ、その施設にも何度か連れて行父は、働いている会社とは別に、学生時代から介護施設でのボランテ

文は、常におじいさんやおばあさん、障害者の方に気を配っていて、父は、常におじいさんやおばあさん、障害者の方に接していました。障害をもっているからといって、特別扱いをしたり、差別をしたりしない父。みんな公平に接することが大切だと、父の姿から学んだように思います。あるとき、障害者の方から何かと、父の姿から学んだように思います。あるとき、障害者の方から何かと、父の姿から学んだように思います。あるとき、障害者の方から何かとがありました。その施設でなかなか笑顔が出せないました。父はずっと笑顔で、では、常におじいさんやおばあさん、障害者の方に気を配っていて、父は、常におじいさんやおばあさん、障害者の方に気を配っていて、

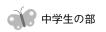
しかしその後、四年生のときの授業で、障害がある人とどのように接

つきたいという思いをもつようになりました。 できたかもしれないのに……。今になっても後悔がたくさんありまたのだろう……。少しでも答えることができたら、もっと楽しく遊ぶこきました。どうしてあのとき、はずかしがって答えることができなかっきえた私は、あの施設での出来事を思い出し、後悔の気持ちがつのってことがあったときには当たり前のように手助けができる。そんなことを緒に過ごすことが大切であること。一緒に過ごしていれば、困っているしたらいいか、ということを学ぶ機会がありました。障害がある人も一

作ったお母さんも、食べた子どももみんな笑顔になるはずです。うしたら、子どもは「おいしい」と言います。その一言だけで、食事を活でも同じです。例えば、お母さんがおいしい食事を作ってくれる。そみんなの笑顔につながるということが実感できました。それは、日常生いる人のたくさんの笑顔を見ることができました。人の役に立つことは、介護施設でのことを思い返してみると、介護されている人や介護して

将来、私も障害のある方や介護が必要なおじいさん、おばあさんのおるようにがんばりたいです。





中学生の部

だれかの笑顔を咲かせたい

知多市立中部中学校一年 思太		98 •		*
知多市立中部中学校一年 思太			300	
知多市立中部中学校一年 恵太	3	\times		
多市立中部中学校一年			知	
市立中部中学校一年	2	3	多	
立中部中学校一年			市	
中部中学校一年			立	
部中学校一年			中	
中学校一年			部	
学校一年 第			中	
部 思 太			学	
部第二十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五			校	
部 恵 太		國	-	-00
恵太		如	年	#
恵太		미		8/
恵太				
太		恵		7/:
		<i>→</i>		92
45.		/ \		
			P.	

僕は学校の先生に、

「この苗は自由に持ち帰っていいです。」

つもうれしい気持ちになります。あれば持ち帰っていました。いつも母は喜んでくれます。そして僕もい浮かぶのは母の笑顔です。持ち帰ったら喜ぶだろうなと思うので機会がと言われると小学生のころから必ず持ち帰っていました。真っ先に思い

公園を通りました。水まきをしていると、犬の散歩をしている人が何人もいる人が意外と多かったりして、知らない時間帯を新鮮な気持ちで公園時間なので、道路を走る車があまりいなかったり早朝ランニングをして水まきをしに行きました。僕の当番は一週間でした。いつもはねている数年前の夏休みの朝早く、暑くなる前にと思って僕は早起きをして、

「おはよう。ここの花はいつもきれいだね。」「毎日、朝早くからえらいね。水まきしてくれてありがとう。」

ことが分かってとてもうれしかったです。 ことが分かってとてもうれしかったです。 ことが分かってとてもうれしから、当番だから当たり前だと思っていたことに対して「あらんどうしが互いに挨拶をしていることにも、うれしい気持ちになりまらない人が僕に挨拶をしてくれたことです。僕にだけでなく、すれちがと話しかけてくれて、僕は沢山うれしい気持ちになりました。まず、知

祉」という言葉を辞書で調べてみました。そこには、僕は中学生になり福祉について初めて真剣に考えてみました。まず「福

ました。 まいる「社会の構成員」という言葉を考えた時に障害の有無に関係なく、 にはでいる「社会の構成員」という言葉を考えた時に障害の有無に関係なく、 には理解できず、ゆっくり考えました。今まで とのっていました。すぐには理解できず、ゆっくり考えました。今まで に福祉 = 幸福。社会の構成員に等しくもたらされるべき幸福」

してきたこと、そして、その花だんを見守ってくれていた社会の大人たっていたことから始まり、花だんボランティア仲間の笑顔に囲まれ成長返ってみました。小さいころ、母の笑顔を思い浮かべながら苗を持ち帰僕は自分だけじゃなく、だれかの幸福のために何かしているかと振り

しいです。祉=幸福がありました。僕も、福祉に参加していました。気づけてうれたがいたことに、改めて気がつくことができました。僕の身の回りは福

ティアは続けたいと思います。草花に集まる昆虫を採りにくる子供がいた公園はみんなのものです。草花に集まる昆虫を採りにくる子供がいたのも、だれかの笑顔を一つでも多く咲かすことができるようにボランも笑顔になります。習い事や部活でいそがしくなってきましたが、これを感じたりします。福祉を意識してから公園の近くを通ると、何だかからも、だれかの笑顔を一つでも多く咲かすことができるようにボランからも、だれかの笑顔を一つでも多く咲かすことができるようにボランからも、だれかの笑顔を一つでも多く咲かすことができるようにボランからも、だれかの笑顔を一つでも多く咲かすことができるようにボランからも、だれかの笑顔を一つでも多く咲かすことができるようにボランからも、だれかの笑顔を一つでも多く咲かすことができるようにボランな風はみんなのものです。草花に集まる昆虫を採りにくる子供がいた公園はみんなのものです。草花に集まる昆虫を採りにくる子供がいた



「身近なボランティア活動を通して」

		%	
	岡崎市		
	岡崎市立竜南中		
栏	学 校 二	•	
杉浦	年	#	
— 颯	- 3	**	•

成八年に発足し今年で二十五年目を迎える。

購入、電車などの乗り降りや車いすやトイレの介助などだ。この会は平にサポートをする。例えば買い物や食事の際のお金の計算やチケットのを楽しむ会で、ボランティアは障害のある人たちが楽しく過ごせるようわくわく会とは様々な障害のある人が休日に食事や映画、カラオケなど機は定期的にわくわく会という会にボランティアとして参加している。

に連れられて一緒に参加してきた。のの母が大学生のころから参加しており、僕は生まれてすぐから母ランティアも「おしゃべりしながら一緒に楽しむ」ことを大切にしていがあっても楽しみたいという思いからだそうだ。参加するメンバーもボースの会が発足したきっかけは同世代の女子が楽しむようなことを障害

身近なボランティア活動について考えてみようと思った。ボランティア活動をニュースで頻繁に見かけるようになったので改めてものだとは考えていなかったが、近頃オリンピックや災害現場などでのこの会に入っているので僕はボランティアというものをあまり特別な

ランティアを難しいものだと考えている人や大きな災害の時だけに助けしたり話し合った結果を発表し合ったりした事があるのだが、そこでボの際にボランティアとはどんなものなのかを、クラスの友達と意見交換ィアはあまり難しいものではないと思っていた。しかし以前道徳の授業僕はとても小さなころからこういった会に参加しているのでボランテ

ップの回収に取り組むこともボランティアだ。ともボランティアだし、学校のことで言えば積極的にペットボトルキャ時にだけ行われることではない。例えば公園のごみ拾いをしたりするこィアは難しいものだと思われていると思う。だがボランティアは特別なこのように、ボランティア活動になじみがない人にとっては、ボランテに行くものだと考えている人が半分以上いたのでとても驚いた事がある。

う活動が身近なものに感じられるのではないだろうか。そうだ。僕が参加している会でも、メンバーには障害があるため、街のそうだ。僕が参加している会でも、メンバーには障害があるため、街のまたが。僕が参加している会でも、メンバーには障害があるため、街のまた、街中で困っている人を見かけた際に手助けをしてあげることもまた、街中で困っている人を見かけた際に手助けをしてあげることも

以前に母から「ノーマライゼーション」という言葉を教えてもらった 以前に母から「ノーマライゼーション」という言葉を教えてもらった という一人の行政官によって提唱され、一九五九年にデンマークの法律 を受けていることを知った親たちによってこの状況を改善しようという を受けていることを知った親たちによってこの状況を改善しようという を受けていることを知った親たちによってこの状況を改善しようという を受けていることを知った親たちによってこの状況を改善しようという を受けていることを知った親たちによってこの状況を改善しようという を受けていることを知った親たちによってこの状況を改善しようという を受けていることを知った親たちによってこの状況を改善しようという を受けていることを知った親たちによってこの状況を改善しようという をして成立したのである。

題を対策することも含まれている。他に、教育の現場でもノーマライゼー社会を築く」という考え方なので、ふだん僕たちが感じている不便や問したものだと考える人が多いと思うが、これは「誰もが幸せに暮らせるまた、ノーマライゼーションというと障害がある人や高齢者を対象に

物事を考えていこうという意味だ。 物事を考えていこうという意味だ。 物事を考えていこうという意味だ。 なく、あくまでも周りの人々がそういった人たちと同じような目線での有無に関わらず、可能な限り共に教育を受けることができるシステムの有無に関わらず、可能な限り共に教育を受けることができるシステム(インクルーシブ教人でも共に学ぶ仕組みや環境が整った教育システム(インクルーシブ教ションの考え方が浸透してきていて、「どのような背景を持つ子ども・大

だっている。続けられることが大切だと思う。ないかと感じる。ボランティア活動は、誰もが気軽に参加でき、楽しく人が共に「楽しい」と感じ、活動を続けたいと思っているからなのでは 考えてみるとわくわく会が二十五年も続いているのは、参加している

が幸せに暮らせる社会」になるのではないかと思う。一人一人が人を思いやるささやかな気持ちを持つことができたら「誰もボランティアや障害のある人たちの手助けを難しいことだとは考えず、



向き合う気持ちと伝える勇気

外富市立弥富中学校二年 网络

表したり、表情も大切です。

我は、去年、学校の福祉体験授業で手話を体験しました。

我は、去年、学校の福祉体験授業で手話を体験しました。

我は、去年、学校の福祉体験授業で手話を体験しました。

えていない不自由さは、外見ではわかりにくいのです。 取っと待たされることがあります。車の音にも気付かず危険なことがあります。後ろから話しかけられても気付けないことや会話についていけないことがあります。地震速報や緊急放送など命に関わる音の情報がわないことがあります。地震速報や緊急放送など命に関わる音の情報がわないことがあります。地震速報や緊急放送など命に関わる音の情報がわないルプマークや耳マークを身に付けているわけではありません。全員がヘルプマークや耳マークを身に付けているわけでもありません。除では、電車が止まったり、遅れたりする時のアナウンスが聴こえなくて、では、電車が止まったり、遅れたりする時のアナウンスが聴こえなくて、では、電車が止まったり、遅れたりする時のアナウンスが聴こえなくて、では、電車が止まったり、遅れたりする時のアナウンスが聴こえなくて、では、電車が止まったり、遅れたります。早

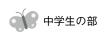
の左耳は生まれつき高度の難聴だからです。聴こえているのは、右だけ講師の話を聞いて、私は共感できることばかりでした。なぜなら、私

かもしれないと、今になって思います。とアドバイスしてくれる大人もいです。「右が聴こえているから大丈夫」とアドバイスしてくれる大人もいです。「右が聴こえているから大丈夫」とアドバイスしてくれる大人もいです。「右が聴こえているから大丈夫」とアドバイスしてくれる大人もいです。「右が聴こえているから大丈夫」とアドバイスしてくれる大人もいです。「右が聴こえているから大丈夫」とアドバイスしてくれる大人もい

困っていることを発信する勇気もすごく大切なことです

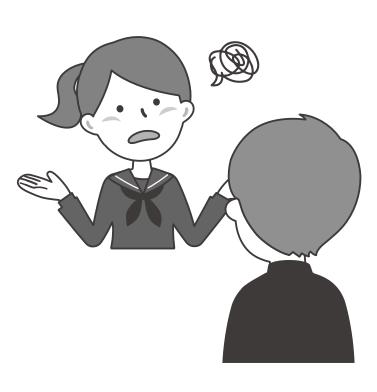
ともあります。 あります。 飛んで来るのかわかりづらいこともあり、クルクル回ってしまうことも って補聴器を外して参加します。体育は好きですが、ボールがどこから に気付きにくいので細心の注意を払います。体育の授業では、 補聴器を使用することが出来ません。だから、後ろから来た車や自転車 た、補聴器を濡らしてはいけないため、 カーなど大音量のする物の近くでは耳が壊れそうな感覚になります。ま てしまいます。時には、「もういいや」と言われ会話が終わってしまうこ こえなくて何度か聴き直してしまうため、私は申し訳ない気持ちになっ コミュニケーションをスムーズに取ることが難しいです。友達の声が聴 困難です。特に放課や掃除の時は、沢山の音が混ざり合うので友達との げてくれます。でも、雑音まで拾ってしまうので必要な音の聴き分けが けるようにするための補聴器です。クロス補聴器は、私の音の世界を広 えない方の音を聴こえている方に電波で飛ばして、片側で両方の音を聴 私は、今、クロス補聴器を使用しています。クロス補聴器とは、 私の補聴器は、音の大小の調整が出来ないため、 雨の日に自転車登校する時は、 内容によ スピー

っているのではなくて、連動して他にも困ることがあるのを理解して欲難聴は、平衡感覚の乱れが出ることもあります。体の一部分だけが困



大の勇気をもらった気がしました。 こえてないよ」と話しかけてくれる子たちがいました。その時、私は最以前、左耳が聴こえないことをみんなに話した時、「自分も片方の耳、聴ぼっていると思われていないだろうか?」「ウソだと思われていないだろうか?」「さ「理解してくれるだろうか?」「ウソだと思われていないだろうか?」「さ困っていることや出来ないことを伝えるのは、とても勇気が要ります。

か経験出来ないことや私の思いを発信していきたいと思います。かの役に立ったり誰かを勇気付けられるよう、私が学んだこと、私にし出来ます。だからこそ、ひとりで悩まないでいて欲しいです。私は、誰インターネットが出来るようになり、様々な情報や活動を知ることが



老夫婦から教わった支え合い

春日井市立坂下中学校三年

平澤

莉衣奈

るということをしなくてはいけない、と思う。

動していかなければならない。私だけでなく、皆が、支える、支えられちれているのだ。でも、支えられるばかりはダメだと思う。自分が出来る支え方を見つけ、行られているのだ。でも、支えられるばかりはダメだと思う。それが当たられるのだ。でも、支えられるばかりはダメだと思う。それが当た方々。自分の周りにいる人もいるが、会ったこともない人にも私は支えきた。家族はもちろん、友達や先生、そして全国で必死に働いている私はこの十五年というまだ短い人生で、たくさんの人々に支えられて

家に行くと起きて来てくれる。そして、行くほどだ。肺が弱くて体力がない祖父は、よく寝ている。でも、私が私は祖父と祖母が好きだ。昔から世話になっていて、今でも泊まりに

「りいちゃん。これ好きに使えよ。」

らっている。祖母と一緒にいると安心する。私はそういう祖母が大好きだけでなく、裁縫も得意としている。なのでボタン付けなどをやってもくれる。何より嬉しいのは、祖母の手料理。泊まりに行く度に私の好きくれる。何より嬉しいのは、祖母の手料理。泊まりに行く度に私の好きいしか祖父との接点がない。でも祖母は違う。祖母はずっと一緒にいてたく受け取る。すると満足げな表情でまた寝に行ってしまう。そのくらよりもお金が欲しいものだ。なので祖父に申し訳なさもあるが、ありがと、笑顔で四千円を握りしめてそう言ってくれる。私の年齢は特に、物と、笑顔で四千円を握りしめてそう言ってくれる。私の年齢は特に、物

なかた

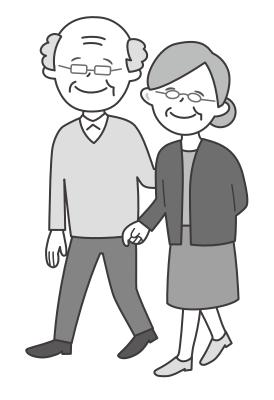
祖父も祖母も私の中で大切な存在である。その二人に私は昔からずっと支えられている。でもいったいよれている。でもいったいと思う。だから今出来ることを精一杯やり、時が来たら、は出来ないこともある。だから今出来ることを精一杯やり、時が来たら、は出来ないこともある。だから今出来ることを精一杯やり、時が来たら、は出来ないこともある。だから今出来ることを精一杯やり、時が来たら、との時出来る支え方をしたいと思う。大切な人だからこそ、こういう支は出来ないこともある。だから今出来ることを精一杯やり、時が来たら、とすぎて返せないけれど、私に出来ることをやって、真っすぐ生きているの時出来る支えられている。でもいつまでも甘えているのはダメだと思う。そうと支えられている。でもいつまでも甘えているのはダメだと思う。そうと支えられている。でもいつまでも甘えているのはダメだと思う。そうと支えられている。でもいつまでも甘えているのはダメだと思う。そうと支えられている。でもいつまでも甘えているのはダメだと思う。とするは、というない。

て楽しそうに散歩をしている。私があいさつをしたら二人とも優しくあ 夫婦がいる。登校時はいろんな人を見かけるけれど、私はその二人に強 学校や塾で机の上に消しカスがあったら捨て、イスが出ていたらしまお 温まるような行動をしたいと思う。心は温まらないかもしれないけれど、 の二人のあいさつは、たった一言でも嬉しさを感じた。私も誰かの心が してくれないのだろう、と怒りと悲しみが出ることもある。けれど、こ 人さえいるのだ。あいさつをして気持ちが良いことも多々あるが、 る人もいる中で、 いさつして下さった。こんなにも心が温まるあいさつがあったのだ、と かが支える、ではない。互いに支え合っているのだ。歩く速度も合わせ の光景を見た時、自然と笑顔になった。腕を組む、といっても、 ている。そしてゆっくりと支え合いながら散歩をしているのだ。私はそ い印象を抱いた。他の老夫婦とは違った。二人は、笑顔で腕を組み合っ せをしている。その待っている時、たまに見かける、散歩をしている老 もう一つは、 と実践し始めた。私が変わったのは老夫婦のおかげなので、 私は登下校中、すれ違う人にはあいさつをしている。 近所の老夫婦の話だ。私は登校する際、 不思議そうにしてくる人もいる。そしてしてくれない 友達と待ち合わ してくれ どちら

たいと思う。

じることが出来るのだ、と私に気づかせてくれた。しさがわいてくる。老夫婦が、支え合った方が互いに幸せ、嬉しさを感ということは大切な行動だ。支えられている方は少なからず、幸せや嬉れど、それに順番なんていらないのだ、と分かった。もちろん支える、私は今まで、支えられたから支える、のが一番良いと思っていた。け

そして皆で笑い合う、そんな世の中になっていってほしい。との先も私たち人間は支え合わなければ生きていけない。心も体も互この先も私たち人間は支え合わなければ生きていけない。心も体も互この先も私たち人間は支え合わなければ生きていけない。心も体も互この先も私たち人間は支え合わなければ生きていけない。心も体も互この先も私たち人間は支え合わなければ生きていけない。心も体も互





暮らしやすい社会にするために

津島市立神守中学校三年 1

はり人前だと気づかないフリをしてしまいます。はり人前だと気づかないフリをしてしまいますか。私は、ヘルプマーク」を持っている人を見つけたら、助いに作成されたものです。ヘルプマークを持っている人を見つけたら、助いに行く。ですが、行かなければならない、というわけではないため、のか、インターネットで調べました。ヘルプマークとは、見ただけではのか、インターネットで調べました。ペルプマークとは、見ただけではのか、インターネットで調べました。ペルプマークとは、見ただけではのか、のかの知りませんでした。そこで、ヘルプマークがどんなものない方人はあまり見たことがありません。私もその内の一人ですが、やはいたの方に行く人はあまり見たことがありません。私もその内の一人ですが、やはいたの方に行く人はあまり見たことがありません。私もその内の一人ですが、やのか、インターネットで調べましたが、いまいち、どんな状況で使用されるものなのが、対していますが、私は、ヘルプマークはり人前だと気づかないフリをしてしまいます。

か。 のような事になるのを減らすために、何が必要なのでしょう

を聞いて、負のイメージを湧かせる人は少なくないはずです。が、これを実践するのはかなり難しいと思います。障がい者という言葉か、という意見がありました。例えば、恥ずかしさを捨ててみる。です家族と話し合ってみたところ、自分の考えを変えれば良いのではない

ます。そのような壁をなくして、お互いが暮らしやすい社会をつくるべるというように、障がいをもつ人にもするべきだ、という考えとは違い大切だと思います。だから、自分たちと同じく、世間からの扱いを受け、そこで、大切なのは「障がい者という壁をつくらない」ということが

きであると私は思います。

ィブになってしまい、それは「お互いが暮らしやすい社会」ではなくな 動すれば、絶対に無くなることなのです。 ってしまいます。これもお互いがお互いのことを理解しようと考えて行 ませんでした。言い方によっては、自分は邪魔な存在なのだ、とネガテ のだろうな、とは思いましたが、そこまで強く言うのは正解だとは思え ことに対して嫌だという気持ちが伝わる発言が聞こえたので、 心しましたが、その後におばあさんに大きな声を出して怒っていました。 思われる人が、歩くのを止めていたところを見ました。その時、 滅している時に渡り始めようとしたおばあさんを見た、その人の家族と 互いが暮らしやすい社会をつくるための近道なのではないでしょうか。 思います。こうしてみんなが楽しめるように、精一杯考えることが、お 楽しんでみるのです。遊びだって、一生懸命やらなければ楽しくないと 意識して工夫したり、自分たちは、車いすの子に遠慮はせず、 きらめるのではなく、 ルを変えてみたり、車いすの子は、みんなと条件が違うからと言ってあ んだ、と考えてしまうかもしれませんが、早歩きのみというようにルー に乗っているため、 「死のうとしていたのか。」など、相手が亡くなってしまうかもしれない ある日、 自分は鬼ごっこがしたいという気持ちがあるけれど、 横断歩道で、目が見えていないのか、信号が赤になろうと点 みんなと同じように走れない子がいるからできな 追いかけている人までの最短ルートを通ることを 良い人な 思い切り 私は感

だと思います。は、障がいをもつ人のことをよく知らずに、自分勝手な意見を持つからは、障がいをもつ人のことをよく知らずに、自分勝手な意見を持つからます。それでも「考える」という大切なことをしない人がいるというのしいのです。だからこそ、「考える」という行為がとても重要になってきしいのです。だからと障がいをもつ人たちが良い関係を築いていくのは難

すが、小学三年生のことだったので障がいをもつ人への接し方について私は福祉施設を訪ねて、そこにいる人たちと触れ合ったことがありま

なことなのか今、知ることができました。私も楽しむことができました。実際に触れ合ってみることがどれ程大切をしたことに対して、「楽しい」と言ってくださり、その言葉のおかげで深く考えたことはありませんでした。その人たちは私たちと色々な遊び

っています。暮らしやすい社会になるために、自分の出来ることをしていきたいと思たくさんの人と共有しながら、自分たちはもちろん、障がいをもつ人も私はこの作文を通じて、新しい考えを得ることができました。それを



心をつなぐ「ありがとう」

設楽町立津具中学校三年

後々木こころ

者さんを送迎する車に補助者として乗ったときのことです。偕楽園という高齢者の福祉施設で二日間職場体験学習をしました。利用中学校二年の冬、私は地域のお年寄りの皆さんがデイサービスに集う

「シートベルトをしめさせてくださいね。」

「ありがとう。助かるわ。ありがとうね。」

ました。雪の降りそうな寒い日でしたが、私の心はぽかぽか気分になりました。雪の降りそうな寒い日でしたが、私の心はぽかぽか気分になりお年寄りの皆さんは何度も「ありがとう」という言葉を言ってください

を咲かせる言葉だと思います。が言ってもうれしくなる言葉です。そして、「ありがとう」は、笑顔の花が言ってもうれしくなる言葉です。そして、「ありがとう」という言葉が大好きです。人から言われても自分

段から親しみを感じていたということも理由の一つでした。んに元気と笑顔を届けたいと思ったからです。母が勤めている職場で普私が職場体験学習の場所として偕楽園を選んだのは、お年寄りの皆さ

いになりました。
つ言葉を何度言ったかわからないほど言い、感謝の気持ちで胸がいっぱので、少しずつ慣れていきました。私は、「ありがとうございます」といの皆さんや職員の方が温かく迎えてくださり、優しく接してくださったの皆さんや職員の方が温かく迎えてくださり、優しく接してくださったなど、初めて体験することが多くて緊張しました。けれども、お年寄りなど、初めて体験することが多くて緊張しました。けれども、お年寄り

ら声をかけてきてくださいました。
こ日目、私は笑顔で明るくがんばろうと張り切って活動を開始しました。
原下のモップかけをしていると、一人のお年寄りがにこにこしながた。
原下のモップかけをしていると、一人のお年寄りの皆さんと積ただけるようにさらにがんばろうと思いました。お年寄りの皆さんと積ただけるようにさらにがんばろうと思いました。お年寄りの皆さんと積ただけるようにさらにがんばろうと思いました。

りがとう。」
「今日も来てくれてありがとう。また出会えてよかったよ。お掃除もあ

他のお年寄りの皆さんも優しく話しかけてくださいました。私はうれしくなり、モップかけや台ふきなどの掃除も楽しくなりました。

とうね。」 「昨日は車椅子を押してくれてありがとうね。今日も来てくれてありが

ださいね。」 日もまた会えて私もうれしいです。今日も押させてく

「ありがとうね。今日も頼むね。」

会話が弾みました。ぬくもりを感じました。

花が一日目よりもたくさん咲きました。二日目には「ありがとう」を数えきれないほど言っていただき、笑顔のなど、いつでもお年寄りの皆さんは気さくに話しかけてくださいました。そして、送迎の補助のとき、掃除のとき、歯磨きのコップ配りのとき

私の住む地域には一人暮らしの高齢の方がたくさんいます。以前の私

ったことに偕楽園での体験を通して気づきました。うのではないかと心配に思っていました。けれども、それは私の誤解だは楽しいことを家族と共有することができず、笑顔が少なくなってしまはその人たちのことを寂しい人たちだと思っていました。一人暮らしで

でもうれしい心をつなぐ言葉だと実感しました。 「偕楽園で出会ったが言葉だと実感しました。 「偕楽園は楽しい。」と、皆さん口をそろえておっしゃっても言われって会話をして楽しさを共有することで笑顔になれると思いました。 このことは高齢の方だけに限らず、私たち中学生も同じです。人とのかかわりを大切にして「ありがとう」の言葉を交わせば、家庭にも学校かかわりを大切にして「ありがとう」の言葉を交わせば、家庭にも学校かかわりを大切にして「ありがとう」の言葉を交わせば、家庭にも学校のようれしい心をつなぐ言葉だと実感しました。 でもうれしい心をつなぐ言葉だと実感しました。

だと思いました。 体験を通して「ありがとう」がたくさん飛び交う偕楽園は素敵な場所

「利用者さんから元気をもらっているのよ。」

いくことが、福祉の充実になると思うようにもなりました。みんなが笑顔になる「ありがとう」を言い合える場所や機会を増やして元気を分かち合う、それも福祉の一つの形ではないでしょうか。そして、のパワーになっているようです。かかわり合う人みんなが笑顔になってと母も笑顔で言っています。「ありがとう」はお年寄りの方々や職員さん



高校生の部

新たに学んだことと、改めて学んだこと

愛知県立海翔高等学校一年

で、私が特に心に残り、大切にしたいと思ったことが二つある。くさんの技術や仕事への想いを教えてくださった。その教えて頂いた中いた。職員の方は、利用者の方の支援で忙しい中、実習生である私にた私は、夏休みの七日間を使ってある障害者就労事業所で実習させて頂

職員の方は言っていた。私はその話を聞いた時、この利用者の方と接す 自分で箸で持って、皿をつかんで食べることができていた。」と教えてく 喉に詰まらせてしまうなど、危険が生じる可能性があるのですぐに職員 かな疑問では、 と障害を持っているために生じているのか判断ができない。そんな不確 認知症を疑ったが、大きな変化は食事の時の行動のみ。これは、もとも ことも減り、 時期からできないことが増えていったそうだ。好きだった歌を口ずさむ の方が止めに入っていた。そして、職員の方は私の方を向き、「前までは 握り、皿に自分の顔を近づけてかきこむように食べていた。もちろん、 ブルで昼食を食べていた。その時、私の目の前に座っていた方が、 たのは、三日目の昼食時のことだ。私はその日、利用者の方と同じテー つ目は利用者の方と真剣に向き合うことだ。このことを教えて頂 職員の方の話によると、今年の二月頃、 食事の様子もその頃から変化が起きたらしい。 家族の方に言って検査を受けてもらうこともできないと 足首を骨折し、 職員の方は 箸を

のあとの職員の方の言葉で私の考えは変わった。るのは大変そうだな、とどこか他人言のように思っていた。しかし、このは大変をうだな、とどこか他人言のように思っていた。しかし、こ

まに態度を変えてはいけない。」た一人の人間なのだから、できないことが増えたからといってあからさることを守っていかなくてはいけない。他の替わりにはならない、たっ「この方がどんなにできないことが増えようと、私達はこの方の今でき

する気持ちに感動し、自分の考えが愚かであったと気づかされた。者の方に対して真剣に向き合っていたのだ。職員の方の利用者の方に対と言わず、その方の今できることを守ろうとしていた。一人一人の利用職員の方のこの言葉に、私はハッとさせられた。職員の方は、大変だ

うに話してくださった。他の人にはちっぽけに見えることかもしれない り、喜んでいる顔を見たり、 りも、良くなっていてよかった。」や「元気そうで安心した。」と嬉しそ の様子を聞いてきた。そこで私が答えると、「自分が担当をしていた時よ と一緒に行動していたことを伝えると、職員の方は私にその利用者の方 別の担当の方に変わったそうだ。私はたまたま、前日にその利用者の方 の光景を目にした。 とを考えなくてはいけない、 だ。私が目指している職は、 を見て嬉しそうにする職員の方々。私は、利用者の方が楽しく生活を送 出した。介護福祉士として働く母の職場でのたくさんの笑顔、 ださった。この回答を聞いて、私はこの仕事を目指したきっかけを思い いを感じている。それが好きでこの仕事を続けられている。」と答えてく も利用者の方にとってプラスになっていると感じられる瞬間に、 方は、「失敗することも多く、上手くいくことの方が少ないけど、少しで せてもらった。それは、「この仕事への思い」だ。この質問に対し職員の 職員の方を見ていて所々感じることもあった。そこで、私は一つ質問さ 二つ目は、この仕事のやりがいだ。これは、 ある職員の方が担当していた利用者の方が、今春、 本当に難しい仕事である。実習中でも、 そして寄りそいたくて、この職を志したの 人と直接関わる仕事だから、 七日間実習をする中で、 常に相手のこ その様子 やりが



だと、改めて感じることができた。が、、このような小さな幸せをやりがいに感じることができる素敵な仕事

仕事であることに自信と誇りを持ちたい。 位事であることに自信と誇りを持ちたい。 で幸せになれる素敵ない。 ではてしまうこともあるだろう。しかし、利用者の方の嬉しそうな顔や、 していきたいと思う。実際に働きはじめると、失敗して利用者の方を怒していきたいと思う。実際に働きはじめると、失敗して利用者の方を怒いことを生かし、利用者の方を大切にできる介護福祉士を目指して努力を目指したきっかけを改めて考えることができた。今後は、教えて頂いるの職



ワクチン接種ボランティアに向けて

学校法人愛西学園愛知黎明高校二年

ている。

「大学工学社会のでは、と期待が高まったのに、なかなかできず、皆がそれぞれの立場で、不安の中で過ごしったのに、なかなかできず、皆がそれぞれの立場で、不安の中で過ごしったのに、なかなかできず、皆がそれぞれの立場で、不安の中で過ごしき科に進み、人との関わり方や看護とは何か等を実習などで学ぶはずだな考え方や行動の仕方を根本から改めなくてはならない毎日だった。看とは全く違う生活を送ってきた。人に会えず、出掛けられず、いろいろとは全く違う生活を送ってきた。人に会えず、出掛けられず、いろいろを対している。

ボランティアかもしれないと思っている。 そんな時、学校から「ワクチン接種のボランティアに参加する」といったが、一定である障害者福祉施設でボランティアをしてきた。施設の行事に参加して、視覚障害者の方に危険のないよう手を引いて歩いたが、持ちにくい荷物を運んだりと、簡単な手伝いをした。その時に「あ設の行事に参加して、視覚障害者の方に危険のないよう手を引いて歩いけえる方法を一緒に考えて、実際に行動すれば喜んでもらえる、それが叶える方法を一緒に考えて、実際に行動すれば喜んでもらえる、それが叶える方法を一緒に考えて、実際に行動すれば喜んでもらえる、それがいたう」と言われたいと思ったが、参加したいと思った。私は中学校の頃う話があった。不安もあったが、参加したいと思った。私は中学校の頃う話があった。不安もあったが、参加したいと思った。私は中学校の頃う話があった。

化を予防し、個人が守れる。二つ目は、免疫を獲得し、感染しない人がワクチンには、二つの効果がある。一つ目は、感染症の発症または重症今回のボランティアの前に、事前にワクチン接種について学習した。

うな知識と伝える力も必要である。 で知識と伝える力も必要である。 で知識と伝える力も必要である。 でない、集団免疫となり免疫を持たない人も守れる。しかし感染症の 学な知識と伝える力も必要である。 でなり、東西のための介助だけでなく、ワクチンとは何かを説明できるよ がは、ワクチンの効果だけでなく「副反応」も理解した上で、一人 がおいまでは、ワクチンの効果だけでなく「副反応」も理解した上で、一人 がは、ワクチンの効果だけでなく、可クチンとは何かを説明できるよ では、ワクチンの効果だけでなく、可クチンとは何かを説明できるよ では、ワクチンの効果だけでなく、可クチンとは何かを説明できるよ では、アクチンの効果だけでなく、ロクチンとは何かを説明できるよ では、アクチンの効果だけでなく、ロクチンとは何かを説明できるよ では、ログチンとは何かを説明できるよ

いたが、 前は、 よ」などと声を掛けたりすることが大切であると感じた。 屋もいくつかあるように感じた。接種会場に来た人は初めて来る場所な 過観察をするという流れを確認した。一方通行であり、 ように看護学生として関わりたいと考えている。 で、担当のスタッフの方に早めに相談して、安全・安心に接種がすすむ 行動していきたい。分からないことがあれば、チームワークが大切なの どの役割になるかわからないが、その場所でできることを考えて、自ら いそうであれば積極的に声を掛けていきたい。 内容を来る人にしっかりと説明をしたり、「次はこのようなことをします らず、とても不安であった。事前の訓練で、流れが分かったので、その 接種を受けた一人一人の様子をしっかりと観察する必要がある。訓練の 寒気、発熱やアナフィラキシーなどの副反応の早期発見・対応のために、 場所では、体調の管理、副反応の確認をした。頭痛、関節や筋肉の痛み、 のだから、少しでも不安を取り除いてあげたい。最後の十五分間を待つ 階の待合所から少人数で六階にあがり受付し、三階に行き接種し、経 ボランティア前の予防接種訓練は、 自分たちも接種の介助といっても、何をどのように行うのか分か どこまで間隔を詰めて良いのかが分からず、 実際に会場となる建物で行った。 実際のボランティアでは 密になっている部 接触を回避して 相手が困って

て、真剣に取り組みたい。しかし、自分が緊張し過ぎて不安になると、ボランティアに参加する日は、人の命に関わることだという意識を持

接するよう心掛けようと思う。相手にも不安が伝わってしまうので、できるだけリラックスして笑顔で

とが大切だと思う。 大丈夫です。安心してください。」と言えることが大切だと思う。 大丈夫です。安心してください。」と言えることがら先に接種すると思っていた。しかし今、ボランティアをする立場にかる仕事の父よりも早い。そのときは、自分たちが感染するといけないから先に接種すると思っていた。しかし今、ボランティアをする立場にかる仕事の父よりも早い。そのときは、自分たちが感染するといけないそれを前もって体験して「大丈夫です。安心してください。」と言えることが方が心配になるか、困ることは何か、その後どんな反応が起こるのか、と関めたいがでは障害者福祉施設につとめる母の次だが、多くの人と関とが大切だと思う。

ずに今後もボランティア活動に参加できればと思う。とな思いを忘れと接することで経験が増えて、人として成長できる。そんな思いを忘れいくことだと思った。一緒に時間を過ごし、共に考える。自分自身も人てあげる」ではなく、人として、相手のことを一生懸命に考えて接して今回のワクチン接種ボランティアを通して、ボランティアとは、「やっ今回のワクチン接種ボランティアを通して、ボランティアとは、「やっ





沈黙」から学んだこと

学校法人愛西学園愛知黎明高校三年

奥村 菜々未

を図ることを目標に実習に臨みました。ン能力が必要不可欠です。今回、患者さんと積極的にコミュニケーション、私は話しかけることが苦手です。しかし、看護師にはコミュニケーショ

と助けて下さいました。その一言のお陰で少し心が軽くなりましたが、 どAさんの表情はピクリともせず、「お願いします。」と一言、 質問されたら、 自分の実習課題のために情報を聞き出すことばかり考えていて、Aさん いたのです。Aさんは答えにくくて困っていたと思います。それでも、 れるのに、情報を得たいがために、簡単に答えられない質問ばかりして なるのだろうか』と考えてみました。Aさんが戸惑ったような表情をさ したが、返ってくるのは一言二言だけです。そこで『どうしたら会話に 後悔のない実習にしたいと思いました。その後も何度か声を掛けてみま るのが難しいから、無理しなくていいよ。傍にいてもらえればいいから。 ていると、指導者さんが「Aさんは、気持ちの変化が大きくてお話しす について伺ってみたものの、暫く続く沈黙。それがとても重くて戸惑っ でも、こんなことでつまずいていたらいけないと思う一心で、入院生活 されただけでした。その瞬間、一気に不安と緊張が高まりました。それ た。第一印象が大切だと思い、笑顔で挨拶し自己紹介をしました。 戸惑いに向きあっていませんでした。初対面の人にいきなりグイグイ 初日に受持ち患者がAさんに決定し、早速ベッドサイドへ向かい 「嫌だな」「ちょっと怖いな」と感じるのは当たり前です 小声で話 けれ まし

ないように、意識して観るようにしました。まず、不安は募る一方でした。私は、Aさんの表情やしぐさを見落とさいえ、 で答えられる簡単な質問にしました。しかし、それでも会話は弾 それからは、質問攻めにならないように間を置きながら〝はい〟と〝いきっと、Aさんもそう感じていたのではないかと振り返った初日でした。

て、なったが、通じ合えたような喜びがありました。ではなかったけれど、通じ合えたような喜びがありました。沢山の言葉でいるので足の力が戻ってきていますね」と思わず声を掛けていました。少しずつできるようになっているのに気づきました。「リハビリ、頑張っすると、一人ではできなかった車椅子への移乗が、リハビリの成果で

数日後のことです。リハビリを終えたAさんが、小声で「今日はいい数日後のことです。リハビリを終えたAさんが、小声で「今日はいいなに重いものと感じたのは初めての経験でした。沈黙は、Aさんがこんなに重いものと感じたのは初めての経験でした。沈黙は、Aさんがこんなに重いものと感じたのは初めての経験でした。沈黙は、Aさんした。その間はとても不安でしたが、Aさんが自ら話を切り出してくれました。沈黙という安堵から、不安や戸惑いが小さくなっていきました。

ます。その後笑顔もよく見せてくださるようになり、Aさんから話を切と、そんな小さな積み重ねの大切さを教えてくれたAさんに感謝していたのではない、自分を見ている人がいるから』と思い、心の扉を開いて頂いでもはっきり覚えています。毎日名前を名乗ってから挨拶をしていたここのコロナ禍で家族と面会ができず、寂しい思いを募らせていたのでしこのコロナ禍で家族と面会ができず、寂しい思いを募らせていたのでしいのコロナ禍で家族と面会ができず、寂しい思いを募らせていたのでしてのコロナ禍で家族と面会ができず、寂しい思いを募らせていたのでしてのコロナ禍で家族と面会ができず、寂しい思いを募らせていたのでして、そんな小さな様の。「毎日来てくれたから覚えたよ」と。Aさんも、呼んでくださいました。「毎日来てくれたから覚えたよ」と。Aさんも、「四月に入り、いつものように病室へ伺うと「○○さんだ。」と名前で

習を無事に終えることができました。り出してくれることも増え、始めの頃の不安が嘘のように無くなり、実

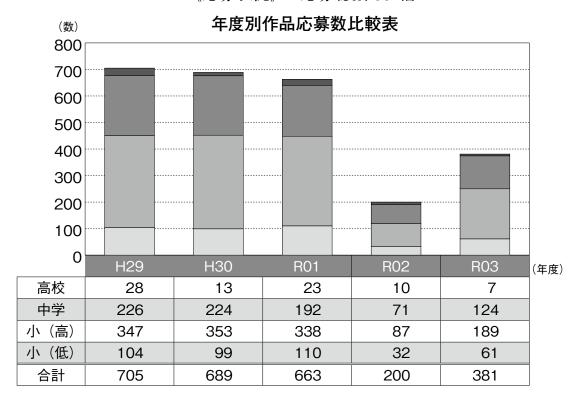
私は話しかけることが苦手です。誰とでも気軽に話すことができる人のよった
 本は話しかけることが苦手です。誰とでも気軽に話すことができる人のよった
 なることで、コミュニケーションは、言葉だけで成立するものではありません。だめに大切なものであることと共に、『患者さんを知ることで、コミュニケーションは、言葉だけで成立するものということも学べました。のとい』と思うその気持ちはいつか伝わるものということも学べました。のとい』と思うその気持ちはいつか伝わるものということも学べました。のとで、コミュニケーションは、言葉だけで成立するものではと感じています。
 本は話しかけることが苦手です。誰とでも気軽に話すことができる人口ミュニケーションを意識していこうと強く思っています。





■ 福祉体験作文コンクール ■

《応募状況》 応募総数 381編



福祉体験作文コンクール選考委員

(敬称略)

に基づき厳正なる審査をし、部門毎に優秀作品を決定しました。 福祉体験作文コンクール選考委員会を次の方々に依頼し、募集要項

三 岡 松 舩

尾

日出志

愛知教育大学名誉教授

西 堀 江

尾

浩

愛知県社会福祉協議会地域福祉部長

令和三年度 福祉体験作文コンクール募集要項

のです。 げるための豊かな経験となるものであり、ともに生きる福祉の心を育ててくれるも 児童・生徒が、学校内外で体験する福祉活動やボランティア活動は自己の幅を広

たものが心に残り、日常生活の中で広がっていくことを期待して、福祉体験作文を こうした経験を通して感じたことや考えたことを、素直な気持ちで作文に表わし

二、主

募集します。

社会福祉法人愛知県社会福祉協議会

三、応募対象

趣旨に賛同する愛知県内(名古屋市を除く)の小・中・高等学校及び特別支援学

校の児童・生徒

応募作品の内容

での体験について、自分の考えや感じたことを表現したものとします。 学校での福祉実践教室やボランティア活動等の体験、地域や家庭、身近なところ

五部 門

- $\overline{}$ 小学校低学年の部(一~三年生)
- 小学校高学年の部(四~六年生)
- 中学校の部
- 高等学校の部

六、作品規定

- とします。 四〇〇字詰め原稿用紙(タテ書)を使用し、各部門の枚数制限は次のとおり
- ア 小学校低学年(一~三年生)——一~三枚以内(四〇〇字以上一二〇〇字以内)
- 中学校・高等学校 -四~五枚以内(一六〇〇字以上二〇〇〇字以内)

(四~六年生)──二~四枚以内(八○○字以上一六○○字以内)

小学校高学年

※題名は一行目、学校学年氏名は二行目、本文は三行目から一マス空けて書いて ください。

- ではありません。その旨を明記してください。 応募作品は、原則として自筆に限ります。ただし、障害等の場合はその限り
- (三) 応募作品には、所定の応募票を添付してください

応募規定

(一) 小学校及び中学校の応募数は各部門二編以内、高等学校は三編以内とします。

(参考)

小学校低学年 一校につき 二編以内 (一~三年生

小学校高学年 一校につき 二編以内 (四~六年生

中学校 校につき 二編以内

高等学校 校につき 三編以内

- (二) 応募作品は、未発表のものに限ります。
- (三) 応募作品は、理由のいかんにかかわらず返却しません。

八、応募方法

H (金) までに応募してください。

下記の応募票を添付し、学校のある市町村の社会福祉協議会に令和三年九月十七

九 選考

選考委員会を設けて、部門ごとに入選作品を合計二十五編程度選考し、令和四年

表彰等

二月(予定)に発表します。

入選者には賞状、副賞及び優秀作品集を贈呈します。

十一、作品集の作成等

人選作品を掲載した優秀作品集を作成するとともに、入選作品は愛知県社会福祉

協議会ボランティアセンターのホームページに掲載します。



令和3年度 第39回 福祉体験作文コンクール

優秀作品集

発行 愛知県社会福祉協議会

〒461-0011 名古屋市東区白壁一丁目50番地 愛知県社会福祉会館内 TEL(052)212-5502 FAX(052)212-5503

